

RADIO LOVEAT
78.6 MHz
www.loveat.co.jp

地域に愛を届ける ラジオ・ラビート

広報課 ☎32-8357 FAX76-5021

「あー、あー、聞こえますか」。この声からラジオの歴史は始まりました。1925年に日本で初めて行われたラジオ放送。戦前・戦中は情報伝達手段として活用され、戦後は民間放送も誕生し娯楽や教育を担うなど、人々の生活を支え続けてきました。2025年はラジオが生まれて100年という節目の年。今回の特集では、みよしを盛り上げ支えているコミュニティFM「ラジオ・ラビート」を紹介します。



今の時代ってラジオ必要なの？
YouTubeとかテレビがあるから
必要ないんじゃないかなあ

ラジオって、番組固定じゃん？
自分の好きな情報だけ欲しいから
向いてないんだよね

ちょっと待った！
ラジオにはこんな利点
や魅力があるんです！

ON AIR

災害時の強い味方

災害時は、正しい情報を素早く手に入れることが重要です。東日本大震災の直後は電気が付かず、ネット回線もつながりにくい状況に陥り、ラジオが人々の主な情報入手手段になりました。また、地域に根付いているローカルラジオ特有のきめ細かな情報提供や、普段の放送と同じパーソナリティやアナウンサーが登場することで人々に安心感や信頼感を与えることができます。

双方向型の情報発信

他のメディアにはないラジオの強みとして、リスナーの声を番組に反映できることがあります。リスナーとスタジオのやり取りにより成立する一体感は、ラジオのリアリティの基礎となっています。リスナーからの情報を1つの貴重な情報源として扱うことで、リスナーは「番組と一緒に作っている感覚」を味わうことができます。この感覚はラジオにしかないものではないでしょうか。

ラジオ・ラビート(RADIO LOVEAT)とは...

エフエムとよた株式会社(豊田市若草町3-32-8)が運営しているコミュニティFMです。周波数は78.6MHz。番組名には、**LOVE(愛)**に**BEAT(鼓動)**を寄せ、地域に密着した生活を楽しむ情報を届けるという熱い思いが込められています。みよし市やその周辺地域のニュースやイベント情報、ユニークなローカル番組など幅広いジャンルを放送しており、みよし市を含んだ30万世帯、およそ80万人が住むこの地域をラジオを通して盛り上げるとともに支えています。



みよしに関するコーナーを紹介します

みよしモーニングニュース(8:00~8:09)

毎週平日7:00から放送されている「あさ♡らぶ」の中にあるこのコーナー。みよし市で行われるイベントや市政ニュースを、パーソナリティの(写真左から)松田恵子さん、MOMOCOさん、^{まつだけいこ}松浦佳代さんの明るく元気な声に乗せてお届けしています。1日の始めにぜひお聴きください。



月~金

月~金



みよしイブニングニュース(18:00~18:09)

毎週平日の16:30から放送されている「ゆう♡らぶ」の中にあるこのコーナー。モーニングニュースと同様に、みよし市に関する情報を発信しています。パーソナリティは(写真左から)^{なかもとだいすけ}中元大介さん、^{わくだあかり}和久田朱里さん、^{なりたあゆか}成田歩加さん、^{ふなはしかおり}舟橋香里さん、^{ぎょうてんたかゆき}行天貴之さんが担当しており、朝とはまた違った雰囲気の中で、個性豊かな5人がニュースをお届けしています。

市長ホットライン(8:00~8:09)

あさ♡らぶの中で毎月第1月曜日(祝日の場合は第2月曜日)8:00から放送されているこのコーナー。パーソナリティと^{おやまたすく}小山祐市長の和やかな掛け合いが人気の秘訣。小山市長が生放送で市政情報を発信します。1カ月に1回しかないこの特別なコーナーを、ぜひお聴き逃しなく。

第1月曜



土



みよしコミュニティニュース(15:50~16:00)

毎週土曜日15:00から名鉄三好ヶ丘駅前にあるカリヨンハウスで公開生放送されている「モミアゲラジオ」の中にあるこのコーナー。明るく親しまれる番組を目指して、東海学園大学の学生とともに番組を作成しています。パーソナリティの(写真下段左から)^{みゆ}美由さん、もとカズさんと学生の掛け合いを通して、市民の皆さんを笑顔にしています。市民参加型の生放送なので、現地に行けば放送に参加できるかもしれません。ぜひ足を運んでみてください。

次のページではみよしイブニングニュースに焦点を当てどのように番組が作られているのか舞台裏に迫ります。

みよしライブニングニュースができるまで

① 取材



みよし市で行われるイベントや発信したい情報を、取材班が現地に足を運び取材します。「その日の天気や雰囲気などを、どう言葉だけで表現するのか」ということを意識して取材しています。インタビューでは、相手が話しやすいような雰囲気づくりや言葉遣いを心掛け、その人の思いや感想を引き出すことを大切にしています。

② 準備



取材が終わると、その資料を基に取材担当者が原稿を作成。その原稿をパーソナリティが受け取り、本番前にディレクターと読み合わせを行います。難しい漢字にはふりがなをつけることや区切るタイミングを事前に把握し、原稿に書き足す作業を行っています。本番では原稿を読む時間が決まっているので、この時点で原稿を読むペース配分も確認しています。

③ 本番



読み合わせが終わると、ついに本番です。読み合わせの時に確認した要点を押さえつつ、パーソナリティが原稿を読み上げます。ニュースの内容に合わせて声の雰囲気を変え、リスナーに伝わりやすいように工夫しています。時間内にいかに正確に分かりやすくまとめるか、パーソナリティの腕が試されます。

④ 配信



このような過程を経て、私たちリスナーの下にみよし市に関する情報が届きます。今まで何気なく聞いていたラジオも、その背景には取材班やディレクター、パーソナリティなど多くの人が携わっており、それぞれの思いが込められていることが分かります。その点にも注目してラジオを聴いてみてはいかがでしょうか。

え、新聞もやってるの？

エフエムとよた株式会社はラジオ放送の他に、2021年4月から「**豊田経済新聞**」というインターネットのニュース発信サービスも行っています。コロナ禍や時代の流れを受け、新たなチャレンジとして始めたこの活動。ぜひご覧ください。



豊田経済新聞



ラジオスタッフにインタビュー



▲チーフディレクターの
いわまたかや
岩間享弥さん

Q. コミュニティFMに出会ったきっかけと、強みについて教えてください

学生時代、アルバイトの前に何気なく聴いていたラジオ。気付いたら番組を作りたいと思っていました。コミュニティFMの強みは、地域に密着しているため「災害時に強い味方になれること」だと考えています。また、日常生活で見落としがちな自分が住んでいる地域の魅力を再発見することができることも強みですね。

Q. ラジオの魅力は何だと思いますか？

ラジオの魅力は、パーソナリティとリスナーで作上げるアットホームな雰囲気だと考えています。リスナーからのメッセージにパーソナリティが反応し、番組という作品ができ上がっていく。この感覚はラジオでしか味わえないものなのかもしれません。「映像がないから」ではなく「映像がないからこそ」伝わるものがラジオにはあるので、多くの人に聴いてもらいたいです。

Q. ラジオのパーソナリティを目指したきっかけは何ですか？

1995年の阪神淡路大震災が起こったとき神戸に住んでおり、ラジオのパーソナリティの人に勇気付けられたことがきっかけです。しゃべることや音楽を流すことを通して、多くの人の気持ちに寄り添うことができる存在になりたいと思うようになりました。小さい頃からパーソナリティは私の憧れでしたね。

Q. ラジオの魅力は何だと思いますか？

情報が無作為に入ってくることだと考えています。今の時代は必要な情報だけを入手する傾向があり、もちろんそれは悪い事ではありません。そんな風潮の中、ラジオを聴くことは自分が知らなかった情報、すなわち新しい刺激を手に入れることにつながり、もしかしたらそれは人生を変えるほどのものになるかもしれない。そんな風に思っています。ラジオの醍醐味は「聴くこと」だけではなく「コミュニケーションを取れること」なので、メッセージを通して多くの人と楽しい時間を共有したいです。またラジオでお耳にかかりましょう！



▲パーソナリティの
ぎょうてんかゆき
行天貴之さん

番組にメッセージを送りたい…

アプリ「FMプラプラ」がおすすめ！

FMプラプラとは、全国のコミュニティFMを聴くことができるアプリです。アプリをダウンロード後、放送局設定でラジオ・ラビートを選ぶと、アプリからメッセージを送ることができるとともに、スマートフォンからラジオを聴くことができます。ダウンロード・利用は無料。お気軽に登録してみてください。



iOS版



Android版



ウェブ版

